

女性懇談会進捗状況(坂下地区)

※ 懇談会で出た質問全てが掲載されているわけではありません。
 ※ 答弁者の役職名は開催当時のものです。

少人数学級

平成 22 年度

学校教育課 1096

質問 (坂下地区住民)

・子どもは小学校2年であるが1クラス38人、小学校の少人数化を願う。
 ・一年でも早く実現して欲しい。

答弁 (市長)

△

・少人数学級を進めることは公約として取り組んできた。
 ・加配については予算措置も行ってきた。
 ・教育委員会に学級の状況を認識していただき、議論を期待したい。

実施済・実施中の事項

●

岐阜県では平成23年度、小学校1年生と2年生、中学校1年生で35人学級を実施しています。中津川市教育委員会としては、一人一人のお子さんにきめ細かい指導ができるように、学校の状況を踏まえ、指導助手等の支援員の配置をしています。

今後の計画等

平成24年度以降については、県教育委員会の方針によって決定することになります。中津川市教育委員会としては、一人一人のお子さんにきめ細かい指導ができるように、学校の状況を踏まえ、指導助手等の支援員の配置をしていきます。

予定日

広報無線

平成 22 年度

防災安全課 1097

質問 (坂下地区住民)

・防災無線ではなく、広報無線として文化協会のお知らせの回数を増やしていただきたい。
 ・先日、本町で空き巣事件があったが、これも広報無線で情報を知らせていただきたい。

答弁 (市長、坂下所長)

○

・緊急性のあるものは防災無線で対応。
 ・メールなどで広報をしている。
 ・携帯メールは現在23,000人の登録があり、そのジャンルの一つとして、文化協会それも坂下の文化協会を加えることは可能である。
 ・安全に対しては携帯メールだけでは不足である。
 ・地デジのデータ放送でも対応できるようである。
 ・防災無線を平時にはサイレンを鳴らさない形で使う。

実施済・実施中の事項

●

総合事務所管内では戸別受信機を利用して行政情報や地域情報の広報を行っています。(広く市民が参加するイベントや緊急性があると総合事務所判断した情報)
 平成23年度は無線整備のための設計業務の実施及びモーターサイレン等の設置をしています。(蛭川地区・中津川地区の一部)
 現在の地域情報や行政情報等の情報配信方法を関係課と協議して防災行政無線の戸別受信機に替わる方法を検討しています。

今後の計画等

平成24年度～平成26年度で防災行政無線設備の古い順に順次整備していく予定です。
 今後は、防災行政無線(アナログ)の老朽化や市町村合併による無線設備の統合(周波数の統一)のため新たな無線設備(デジタル)にする必要があります。
 現在総合事務所管内の各家庭で利用している戸別受信機もアナログタイプからデジタルタイプに替えないと利用できなくなりますが、デジタルタイプの戸別受信機は高額であり全世帯へ設置するのが困難な状況です。

予定日

コミュニティバス

平成 22 年度

情報交通課 1099

質問 (坂下地区住民)

・コミュニティバスの運行時間帯の見直しを。

答弁 (坂下所長)

△

・情報交通課で検討しているところ。
 ・効果を検証しなければならない。

実施済・実施中の事項

■

バス停の変更、ダイヤの調整等地域からの要望については、行政、区長会、事業者等による坂下地区巡回バス検討委員会で検討調整して実施しました。平成23年2月に開催した上記委員会でバス停の新設、ダイヤの調整を行ったのと同様に、ユーザーの要望には応えていきます。

今後の計画等

予定日

坂下病院産科の復活

平成 22 年度

総務課(坂下病院) 1100

質問 (坂下地区住民)

- ・坂下病院の産科の復活を要望。
- ・助産師を活用できないか。

答弁 (市長)



- ・十分に認識しているところ。
- ・裁判、過酷な勤務条件などから全国的に産科医師が減っている。市内に4名の産科医師がおり、林医院と市民病院が連携して対応しているが、4名では負担が大きい。現在の4名体制を保つことも大変なこと。
- ・市民病院で地元の皆さんを受け入れるという体制を維持することを優。
- ・院内助産院も検討してもらったが、救急対応が困難である。だがあきらめずに検討していく。
- ・ご意見は努力目標として取り組んでいく。

実施済・実施中の事項



- ・引き続き医師確保について努力をしていきます。

今後の計画等

- ・全国的な医師不足により、産科医は特に不足する中、大学医局に働きかけていきます。

予定日

介護士の求人

平成 22 年度

総務課(坂下病院) 1102

質問 (坂下地区住民)

- ・坂下病院の介護士は不足していると聞か、坂下高校に求人はない。
- ・坂下高校へ求人を出して欲しい

答弁 (市長、坂下所長)



- ・意見を病院へ伝えていく。
- ・試験というものがあるので、本人のがんばりは必要。
- ・福祉計画でも取り組む。

実施済・実施中の事項



- ・現在は介護士の不足はなく、今後不足するようであれば坂下高校にも募集をかけていきます。

今後の計画等

予定日

婚活

平成 22 年度

少子化対策課 1103

質問 (坂下地区住民)

- ・フレンドリーパーティを開催し、若者の出会いの場を作っていただきたい。

答弁 (市長)



- ・阿木では「いきいきネット」で取り組んでいる。
- ・地域で取り組んでいただけると良い。

実施済・実施中の事項



- ・平成23年度は、ハッピー・マリッジ・プロジェクト事業を展開し、男女の出会いの場の提供を行います。
- ・7月1日に結婚相談員として6名を委嘱し、7月から毎月第1土曜日中央公民館・第3土曜日福岡公民館で結婚相談所を開所しています。(現在は相談所登録者36名)
- ・7月1日からハッピーマリッジサイト(公共婚活サイト)を開設し、サイト登録者へ男女の出会いの場の情報提供を行うとともに、登録者交流会を行いました。(サイト登録者103名)

今後の計画等

- ・今後も広報なかつがわや市のホームページ等でPRや情報提供を行っていきます。
- ・引き続き補助金を交付しながら、婚活パーティー等の支援を行っていきます。
- ・婚活サイト・結婚相談所・サポーターが連携を図りながら、男女の出会いを支援していきます。

予定日

坂下地区の発展

平成 22 年度

坂下総合事務所地域福祉課 1104

質問 (坂下地区住民)

・榎街道による坂下の発展が望まれる中での、きりら坂下、榎の湖の存続の方向は。

答弁 (市長)

○
・赤字の状態が続けることはできない。
・検討委員会で議論してもらっているところ。
・新聞紙上で論争することは好ましくない。

実施済・実施中の事項

●
・H22年9月に会社の経営状況を公表しました。(完了)
・H22年12月に経営改革プランを作成しました。(完了)
・H23年1月に(財)榎の湖ふれあい村の経営改善策として、榎の湖自然公園の観光栗園構想を産業振興部と坂下総合事務所で計画し、地元区長会及び公園周辺地区に計画案を説明しました。(完了⇒計画案は見直し)
・(財)榎の湖ふれあい村は一般財団法人移行に向けて申請手続きを行っています。(平成24年4月1日移行予定)

今後の計画等

・(株)きりら坂下の経営改善として取締役の勉強会(現状と課題)を計画しました。(10月～11月)
・(財)榎の湖ふれあい村の経営改善として自然公園の活用について見直します。(先進地視察10月～11月)
・(財)榎の湖ふれあい村は、一般財団法人移行に向けて申請手続きを行っています。(平成24年4月1日移行予定)

予定日

子育てについて

平成 21 年度

少子化対策課 630

質問 (坂下地区住民)

地域に児童館がなく子供を安心して遊ばせられる場所が無い、どうにかしてほしい。

答弁 (市長)

△
各地域の公民館・クラブ等を触れ合う場所として、地域の人の手を借りながら子育ての拠点として広めていきたい。

実施済・実施中の事項

●
平成23年度新規事業として、『地域で子育てモデル事業』を展開しています。
実施目標5地区に対して、阿木地区・山口地区の2地区で実施を決定しました。
また、坂本地区では実施に向けて検討中です。

今後の計画等

地区集会所等を活用した、地域の子どもの居場所づくりに取り組む地域住民で組織する団体へ、活動補助金50,000円を交付し子ども居場所を確保します。

予定日

イベントについて

平成 21 年度

定住推進課 634

質問 (坂下地区住民)

イベントに対する助成の継続をお願いしたい。

答弁 (市長)

○
イベントの助成に対し事後評価をして一律ではなく応分としていきたい。

実施済・実施中の事項

△
平成22年10月に市広報紙にて地域振興特別予算の内容と評価方法を公表しました。
今後所長会議の中で、次年度に向け地域に必要な予算の組立てを行っていきます。

今後の計画等

市として補助金等の見直しを進めており、その中で方向性を検討していきます。

予定日

バス停について

平成 21 年度

坂下総合事務所地域福祉課 637

質問 (坂下地区住民)

体育館前のバス停の片側に屋根がない、付けてほしい。

答弁 (坂下総合事務所長)

△
地元の間伐材などを利用し補助事業を活かして考えたい。

実施済・実施中の事項

×
間伐材等の補助事業で対応を考えたところ、間伐材の経年劣化等により後処理に費用が掛かりまた手間を要する事が生じること、また現在その補助事業を確認したところ、事業が無いことが判明しました。
運送業者の現況では、屋根付き停留所の設置は、地元自治体の対応によるとのこと。市としても、利用者の移動を優先しているため、バス停の屋根は設置しません。

今後の計画等

予定日

質問 (坂下地区民)

時間割が朝早かったり、午後の下校時になかったり幼・小・中学生には利用しにくい時間割になっているので、利用者を確認して改善してほしい。

答弁 (市長)



巡回バスのあり方を含めて交通弱者の対策については大きな課題と認識している。全市的に考えていきたい。個別の件については地域で対応したい。(所長へ直接指示)

実施済・実施中の事項



平成22年度について、要望事項を含め2月に検討委員会を開催し審議、検討を行いました。その結果、平成23年4月から、要望事項の時刻改正2件、バス停追加1件の計3件の運行を開始しました。

今後の計画等

毎年、地区の調査期間を設定して要望事項をまとめ、検討委員会により審議、検討を行い進めていきます。

予定日